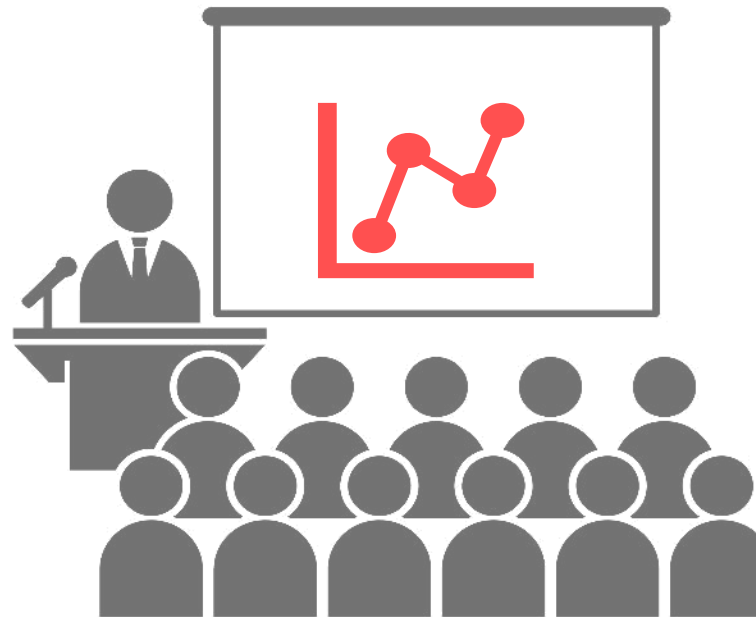


■スライドショーに書き込むメリット

- 対面授業において、投影している画面に直接書き込むことができ、学生は大画面で見ることができます。
- 同時配信授業において、投影しているものと同じ画面を共有できるため、オンライン参加の学生もクリアに書き込みを見ることができます。
- スクリーンと黒板を行き来することなく、スムーズに授業を進めることができます。
- 既存の PowerPoint でも、新規の PowerPoint でも使用できます。
- 書き込みを保存することができます。

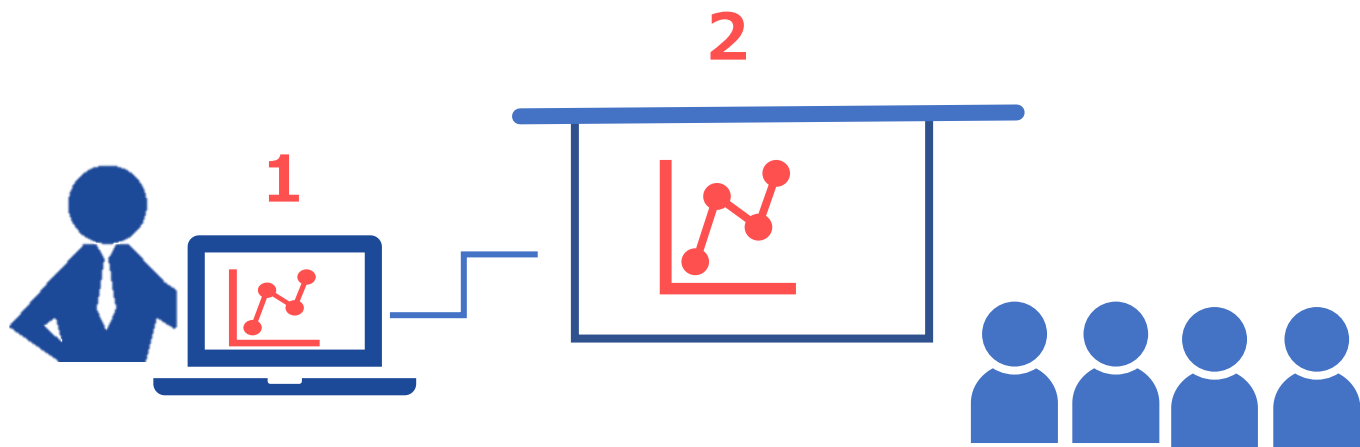


- Surface 等の対応機種はタッチペンが有効です
- マウスも使用できます



■ 2画面（デュアルモニター）についての注意

- モニターやスクリーンに接続されたパソコンは、2画面構成（デュアルモニター）になっています。
 - 2画面構成では、パソコン画面とスクリーンの表示が同じ【複製】と画面を広げる【拡張】等のモードが選択できます。
 - このマニュアルでは、【複製】モードでの手順を説明しています。
-
- PowerPointの【発表者ツール】を使用する際には、スライドのみをスクリーンに表示させる【拡張】モードを使用します。
 - 既存のPowerPointで、【発表者ツール】を使用する場合、カーソルの位置が、パソコン画面とスクリーンとで、相対座標位置になります。表示スライド上でポイントする際には、カーソルを使用せず、発表者ツールのポインターを使用してください。
- ※別マニュアル「発表者ツールを使う」参照



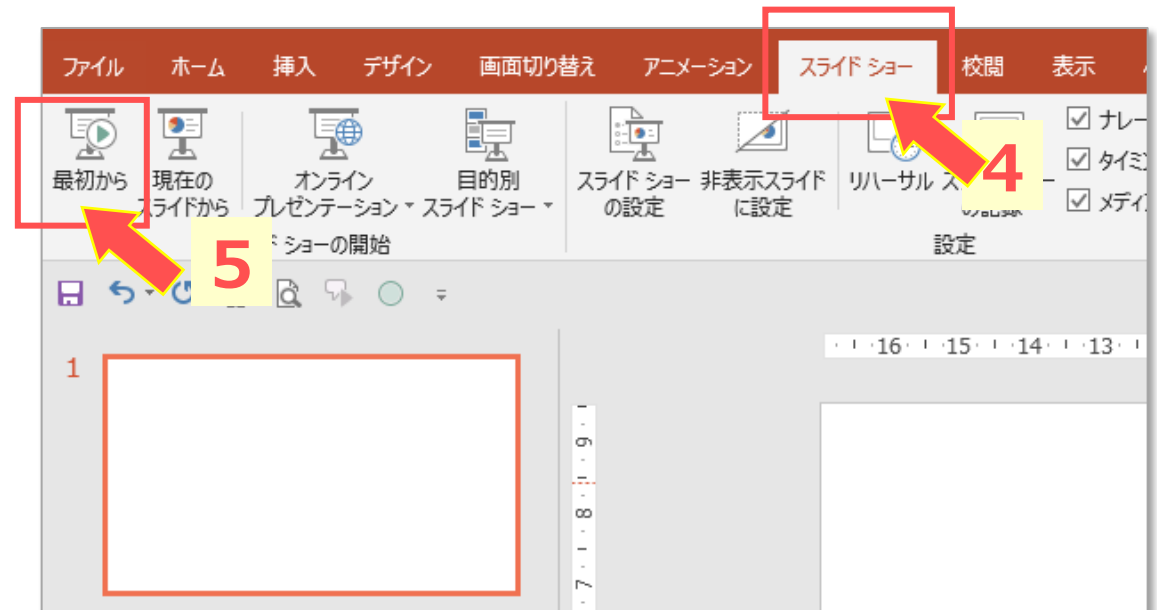
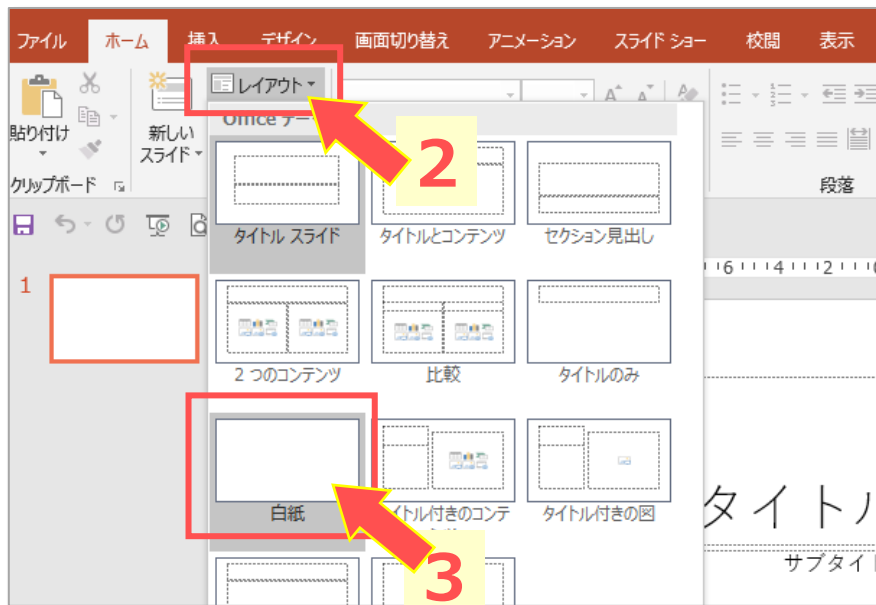
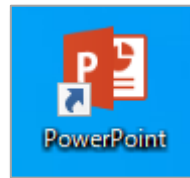
表示モードの切り替え方法
【Windows】+【P】



【1】 スライドショーの開始

※既存のPowerPointがない時

1. 【新しいプレゼンテーション】をクリック
2. 【レイアウト】をクリック
3. 【白紙】をクリック
4. 【スライドショー】タブをクリック
5. 【最初から】をクリック



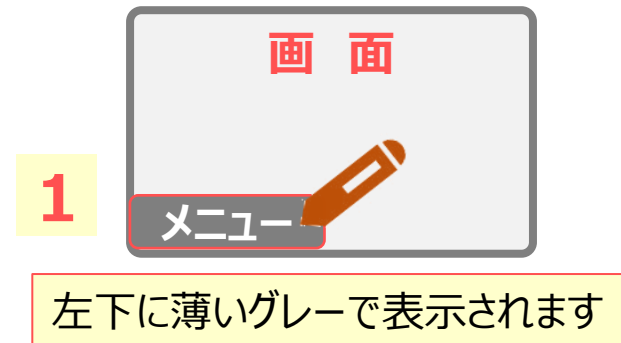
【2】メニューからペンを選択

1. ペン（カーソル）を画面左下に近づけて、メニューを表示します

2. 【ペンの種類】をクリック

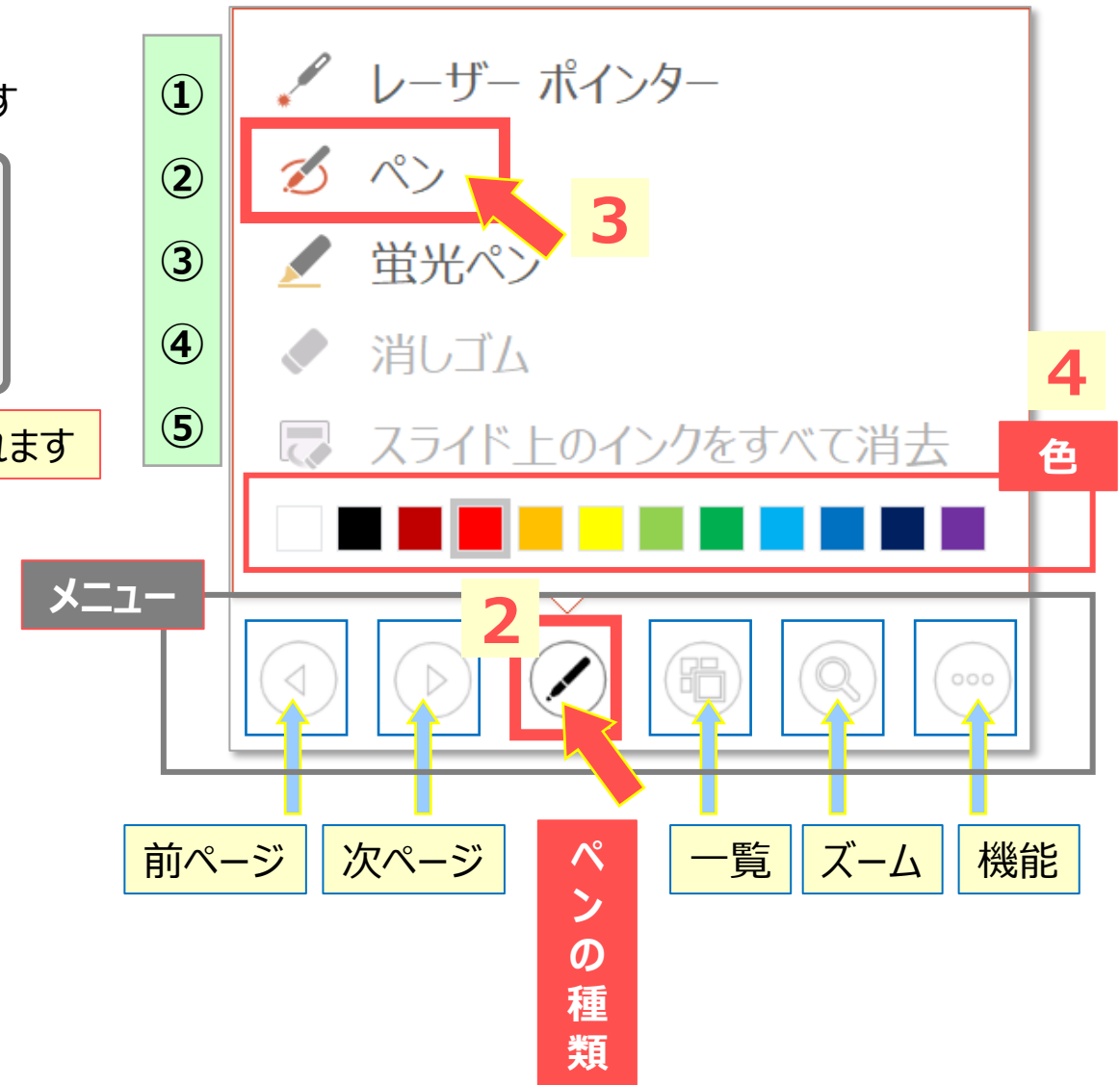
3. 【ペン】をクリック

4. 【色】を選択



※ペンの種類

- ① レーザーポインター
- ② **ペン** : 細いペン
- ③ 蛍光ペン : 幅広のマーカーペン
- ④ 消しゴム : クリックした線を消去
- ⑤ インクをすべて消去 : 一括消去

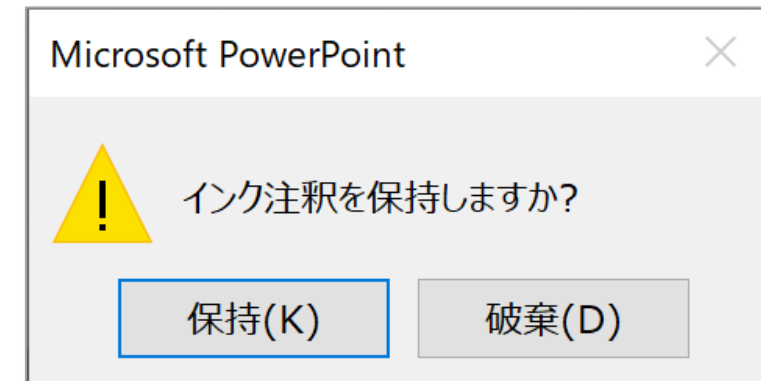


【3】 画面にペンで書きます



【4】 スライドショーの終了

1. キーボードの【esc】キーを押下
または、【機能】ボタン > 【スライドショーの終了】を選択
2. インク注釈の保持を選択 ※任意
3. PowerPoint を終了します。



■その他のボタン



● 一覧

- ・ スライドの一覧を表示します
- ・ 【←】または【esc】キーで戻ります



● ズーム

- ・ 画面を拡大化します
- ・ 【esc】キーで戻ります



■情報セキュリティとは、

インターネットを利用する際に注意する
危機管理対策（リスクマネジメント）
のことです。

自分が被害者になる場合だけでなく、
犯罪者に利用されることにより、意図
せず加害者になってしまうケースもあります。

十分な知識を身に付けて、適切な対策・
対応を心がけてください。

※本マニュアルは情報の要約です。 詳細は、各ページ内のアンダーラ